

令和6年第1回定例会6月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発 言 順 位

6月14日(金)

- | | | | | | |
|-----|----|-----|----|-------------|----------|
| (1) | 上田 | 雅彦 | 議員 | (明石維新の会) | ……………P2 |
| (2) | 千住 | 啓介 | 〃 | (自由民主党明石) | ……………P3 |
| (3) | 国出 | 拓志 | 〃 | (公明党) | ……………P5 |
| (4) | 中川 | 夏望 | 〃 | (市民の会) | ……………P6 |
| (5) | 宮坂 | 祐太 | 〃 | (明石かがやきネット) | ……………P8 |
| (6) | 高尾 | 秀彰 | 〃 | (明石維新の会) | ……………P9 |
| (7) | 出雲 | 有希子 | 〃 | (自由民主党明石) | ……………P10 |
| (8) | 長尾 | 博子 | 〃 | (公明党) | ……………P11 |

6月17日(月)

- | | | | | | |
|------|----|-----|----|-------------|----------|
| (9) | 山中 | 裕司 | 議員 | (市民の会) | ……………P12 |
| (10) | 竹内 | きよ子 | 〃 | (明石かがやきネット) | ……………P13 |
| (11) | 中村 | 茂雄 | 〃 | (明石維新の会) | ……………P15 |
| (12) | 灰野 | 修平 | 〃 | (自由民主党明石) | ……………P17 |
| (13) | 飯田 | 伸子 | 〃 | (公明党) | ……………P18 |
| (14) | 黒田 | 智子 | 〃 | (市民の会) | ……………P19 |
| (15) | 正木 | 克幸 | 〃 | (明石維新の会) | ……………P21 |
| (16) | 石井 | 宏法 | 〃 | (自由民主党明石) | ……………P22 |

6月18日(火)

- | | | | | | |
|------|-----|-----|----|-----------|----------|
| (17) | 尾倉 | あき子 | 議員 | (公明党) | ……………P23 |
| (18) | 金尾 | 良信 | 〃 | (市民の会) | ……………P24 |
| (19) | 河村 | 和歌子 | 〃 | (公明党) | ……………P25 |
| (20) | 山下 | 祥 | 〃 | (市民の会) | ……………P26 |
| (21) | 梅田 | 宏希 | 〃 | (公明党) | ……………P27 |
| (22) | 辻本 | 達也 | 〃 | (日本共産党) | ……………P29 |
| (23) | 中西 | 礼皇 | 〃 | (対話の会あかし) | ……………P30 |
| (24) | 家根谷 | 敦子 | 〃 | (スマイル会) | ……………P31 |

※ 順位については予定です。

令和6年第1回定例会6月議会発言通告一覧表

発言順位	1	議員名	上田 雅彦 (明石維新の会)
発 言 事 項	<p>1 財源確保について</p> <p>(1) 歳出における費目のバランスについて (要旨) 民生費・土木費等のバランスについて、見解を問う。</p> <p>(2) 産業振興施策について (要旨) 歳入を増やす観点からの産業振興施策について、現状と今後の展望についての見解を問う。</p> <p>2 「2025年日本国際博覧会」(大阪・関西万博)を契機とした本市の観光について</p> <p>(1) 本市の観光における課題について (要旨) 本市の現状と今後について、見解を問う。</p> <p>(2) 大阪・関西万博について、SDGs未来安心都市・明石としてどのように関わっていくのか。 (要旨) 本市としての見解を問う。</p>		

発言順位	2	議員名	千住 啓介 (自由民主党明石)
発言事項	1 明石市の教育について		
	<p>(1) 子供たちが未来を拓くための教育について (要旨) 教育基本法において、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」とある。市長は、子供たちにどのような大人になってもらいたいのか。見解を聞く。</p> <p>(2) 教育予算の確保について (要旨) 教育環境を整えるべきである。幼児教育も含め、人員確保ができてきているのか。見解を聞く。</p> <p>(3) 中学校の部活動地域移行について (要旨) 一番の課題は、子供たちへの機会の提供の確保である。どのような家庭環境であれ、スポーツ等に親しめるように環境を整えるのが我々の責務であると考え。本市の方向性について、見解を聞く。</p>		
	2 明石市のスポーツ施策について		
	<p>(1) 施設の老朽化及び不足について (要旨) 国の掲げるスポーツ基本法第4条において、地方公共団体の責務として「地方公共団体は、基本理念にのっとり、スポーツに関する施策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」とある。30万人を有する本市においては、施設や施策が不足していると感じるが、見解を聞く。</p> <p>(2) 明石の美しい海岸を生かしたスポーツ施策について (要旨) 本市はビーチスポーツのメッカになっている。特に大蔵海岸ではビーチサッカー全国大会、ビーチバレー学生全国大会、また、アクアスロンや神戸マラソンの延伸企画など様々なスポーツが行われている。その環境は十分なのか、見解を聞く。</p>		

(代表質問)

発言順位	2	議員名	千住 啓介 (自由民主党明石)
発言事項	<p>3 市役所新庁舎整備について</p> <p>(1) 明石市の新しいシンボルとしての整備について (要旨) 実施設計の環境計画において、「カーボンニュートラルへ寄与した計画」とある。太陽光発電も導入予定であり、本市として誇れるものにすべきと考えるが、見解を聞く。</p> <p>(2) 施工準備について (要旨) 多額の市税を投入して整備されるこの事業は、地域経済活性化の後押しにしなければならない。中小零細企業まで経済好循環が生まれる発注方法にしなければならないと考える。市長の見解を聞く。</p> <p>4 大久保北部の開発事業について</p> <p>(1) 2件の調査結果について (要旨) スマートインターチェンジ設置基礎調査と大久保北部市有地利活用可能性調査の結果を踏まえて、市長の見解を聞く。</p>		

発言順位	3	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 (仮称) 若者総合支援室を立ち上げないか</p> <p>(1) 若者世代に対しての市の認識と市政運営に対しての評価について (要旨) 「若者」に特化した市の施策や市政の運営に対しての市の認識及びその評価を問う。</p> <p>(2) (仮称) 若者総合支援室について (要旨) 「若者」の生の声を集約し、「若者」の「若者」による「若者」のための施策展開が必要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p>2 福祉避難所について</p> <p>(1) 大災害時の福祉避難所の在り方について (要旨) 能登半島地震を受けて、市の対応・対策や認識を問う。</p> <p>(2) 臨時の福祉避難所の設置を明石中央体育会館にしてはどうか。 (要旨) 要配慮者の皆様のための福祉避難所について、大災害時には、明石中央体育会館を臨時の福祉避難所にできないか。</p> <p>3 DV被害男性の保護について</p> <p>(1) DV被害男性に対しての市の認識は。</p> <p>(2) 専門性を有する相談員の対応の有無について</p> <p>(3) 男性専門のシェルターについての見解は。</p> <p>(4) 今後さらなる相談体制の強化とシェルター等の受入体制の充実を図るべきではないか。 (1)～(4)の要旨) DV被害男性の支援が進まない現状を受け、市の対応を問う。</p>		

発言順位	4	議員名	中川 夏望(市民の会)
発言事項	<p>1 子育て支援のさらなる拡充について</p> <p>(1) 育休退園制度の廃止について (要旨) 昨年12月議会で質問した後、市民の方からこの制度を廃止してほしいとの多くの声を頂いた。来年度こそ廃止しないか。本市の見解を問う。</p> <p>(2) 保育園入所に当たっての兄弟加点の引上げについて (要旨) 認可保育園は、選考指数の高い児童から内定が決まる。可能な限り兄弟が同じ施設に通えるようにするために、新規入所や兄弟同園への転園の際の兄弟加点を引き上げてはどうか。本市の見解を問う。</p> <p>(3) 保育園のアレルギー対応に対する支援について (要旨) 食物アレルギーのある子どもは増加傾向にある。保育園でもアレルギー対応の負担が大きいことから、加配をつけてほしいとの声を聞く。国の保育体制強化事業の補助金を活用し、アレルギー対応に関する加配を行わないか。本市の見解を問う。</p> <p>(4) 公立学校の修繕や備品購入のための、市民からのふるさと納税制度の導入について (要旨) 本市はふるさと納税で多くの寄附を頂いているが、令和4年度実績では、その1.7倍もの金額が他市へ流出している。希望の公立学校への寄附を指定できる、市民からのふるさと納税制度を導入することで、市外への寄附の流出を減らし、公立学校への支援につなげてはどうか。本市の見解を問う。</p> <p>2 市民にやさしいDX(デジタル改革)の推進について</p> <p>(1) こどもデータ連携について (要旨) こども家庭庁は、潜在的な支援が必要な子どもや家庭を早期に発見し、支援につなげるために、こどもデータ連携の取組を推進している。本市もこどもデータ連携に取り組んではどうか。本市の見解を問う。</p> <p>(2) 公共工事に関するDXの推進について (要旨) 兵庫県や神戸市で使用されている工事情報共有システム等は本市では導入されていない。工事情報をクラウドで管理できる工事情報共有システムを導入してはどうか。本市の見解を問う。</p>		

発言順位	4	議員名	中川夏望(市民の会)
発言事項	<p>3 業務の効率化を軸とした市役所内のDX推進について</p> <p>(1) 局部長級をはじめとした管理職のITリテラシーの醸成について (要旨) DXを進めるに当たり、上長のITリテラシーを高めることは必要不可欠である。本市では、局部長級を含む全職員に対しDX研修を実施したと聞いている。その土壌を一過性のものとせず、管理職のさらなるリテラシーの向上のためにも、継続的な取組が必要だと考える。本市の見解を問う。</p> <p>(2) オンライン会議の徹底について (要旨) オンライン会議はDX推進の第一歩と言われている。対面ではなくオンライン会議を原則とすることで、庁内や取引先とのやり取りを効率化してはどうか。本市の見解を問う。</p> <p>(3) デジタル人材の拡充について (要旨) 昨年度実施したデジタル推進員の育成は奏功していると聞いている。本年度もさらに拡充することだが、それと並行して、外部のデジタル人材を活用し、庁内で対応しきれない高度な分野を推進してはどうか。本市の見解を問う。</p> <p>(4) DXの取組に対する表彰制度の創設について (要旨) 兵庫県は、職員や県民のDX推進に対する機運を醸成するために、庁内のデジタル化の好事例を共有・表彰するイベント「デジCanコンテスト」を実施し、その成果を発信している。本市も実施してはどうか。本市の見解を問う。</p>		

発言順位	5	議員名	宮坂 祐太 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 予算編成過程の公表について</p> <p>(1) 令和7年度当初予算案の編成過程の公表について (要旨) 私はこの間、令和4年6月議会及び令和5年6月議会本会議一般質問において、市に予算編成過程の公表を求めてきました。丸谷市長就任後、最初の本格的な予算編成となった令和6年度当初予算案の編成作業を市長と財政当局のそれぞれが経験され、どのタイミングで、どのような中身まで公表が可能か、一定程度、整理もできたのではないのでしょうか。昨年11月8日の新年度予算要望に係る会派懇談会での市長の御発言も踏まえつつ、令和7年度当初予算案の編成過程の公表を求めます。市の見解をお伺いします。</p> <p>2 季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行への備えについて</p> <p>(1) 高齢者インフルエンザ予防接種費用の一律無料化について (要旨) 令和2年度以降、毎年9月議会で補正予算案を編成し、対応してきましたが、令和6年度についても9月議会で補正予算案を編成し、対応する考えはあるのか、市の見解をお伺いします。</p> <p>(2) 高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種費用の助成について (要旨) 高齢者等を対象とした新型コロナウイルスワクチンの定期接種については、昨年度の市社会福祉審議会及び同高齢者福祉専門分科会において、市に対し費用助成を求める御意見があったほか、私も直接、御高齢の市民から同様の御意見をお聞きしてきました。インフルエンザと同様の無料化が望ましいとは考えるものの、限られた財源の中、このたびの一般会計補正予算案において、高齢者等の7,000円の自己負担を3,000円に軽減するための市の費用助成が盛り込まれたことは、一定評価できます。一方で、国の助成単価8,300円の令和7年度以降の動向が不透明であるともお聞きしており、今後、市の財政負担の軽減と市民の経済的負担の軽減の両立を図っていくことには困難を伴うことが想定されます。</p> <p>令和7年度以降も引き続き、重症化リスクの高い高齢者等で、ワクチン接種を希望される方の接種機会を担保するため、国へ財政支援の継続を要望するなど、市の積極的な対応が必要と考えますが、市の見解をお伺いします。</p>		

発言順位	6	議員名	高尾 秀彰 (明石維新の会)
発言事項	<p>1 気軽にバスケットボールを身近で楽しむことができる環境整備について</p> <p>(1) 気軽にバスケットボールを身近で楽しむことができる環境整備について</p> <p>(要旨) 近年のバスケットボール人気の高まりを受け、近隣市町でも環境整備に取り組んでいると聞く。本市においても以前より度々、市民から気軽にバスケットボールを身近で楽しむことができるよう整備を強く望む声が届いている。今後の対応について、市の見解を問う。</p> <p>2 小中学校体育館の空調設備の整備の進捗について</p> <p>(1) 体育館の空調設備の整備の進捗について</p> <p>(要旨) 昨年12月議会で体育館の空調設備の整備について質問をした際、先行導入事例を参考に、総合的に検討していくとの御答弁でした。現在の進捗や今後の取組について、お聞かせください。</p>		

発言順位	7	議員名	出雲 有希子（自由民主党明石）
発言事項	<p>1 各種タクシー利用券について</p> <p>(1) 寿タクシーの換金手数料について (要旨) 本市の発行するタクシー利用券には、福祉タクシー利用券、通院支援タクシー利用券、寿タクシー利用券があるが、寿タクシー利用券のみ換金手数料が事業者負担となっている理由について問う。</p> <p>(2) 福祉タクシー利用券の換金について (要旨) 障害者の利用するタクシー料金は、事業者負担によって1割引きとなっている。この事業者の社会貢献に対して、行政でその負担分の一部を補助してはどうか。</p> <p>2 新規開業者への支援について</p> <p>(1) 均等割に対する支援について (要旨) 本市において新規開業する場合、開業から数年間、均等割の一部を助成することはできないか。</p> <p>(2) 固定資産税に対する支援について (要旨) 本市において新規開業する場合、開業から数年間の設備投資が必要であり、土地、家屋及び償却資産に対する固定資産税について、助成することはできないか。</p> <p>(3) リスキリングなどの研修費増加に対し、法人市民税を減免してはどうか。 (要旨) 国税においては、いわゆる賃上げ促進税制の控除率加算要件に教育訓練費増加というものがあるが、研修費が増加しただけでは何の税制優遇もない。そこで、法人市民税において、研修費増加のみで優遇できるようにしてはどうか。</p>		

発言順位	8	議員名	長尾博子(公明党)
発言事項	<p>1 投票率向上に向けた取組について</p> <p>(1) これまでの若年層に対する投票率向上の取組について (要旨) これまでの本会議でも議論を重ねてきておりますが、現在、若年層の投票率向上に向けて、どのような取組をされていますか。</p> <p>(2) 朝霧地区での期日前投票所の拡充について (要旨) 本市の東部にある明舞センターは、スーパー、銀行、郵便局、飲食店、衣料品店、また、病床数233床の明舞中央病院が隣接し、日々大勢の人が行き交う場所です。この場所に期日前投票所を設置できないか、見解をお聞きします。</p> <p>(3) 入院中や入所中の方の不在者投票の現状と利用促進について (要旨) 院内、施設内で投票できる制度がありますが、投票できる日が短く、その日にどうしても利用できない場合もあります。院内、施設内の不在者投票利用の実情をお聞きします。</p> <p>(4) スマホを利用したネット投票の将来的な実現について (要旨) 昨今、高齢者でもスマホを保有されている方が多くなっています。投票所に行くことができない事情のある方のためにも、スマホを活用し自宅で投票できるようになれば、より多くの方が投票し、若年層の投票率も飛躍的に向上するでしょう。将来的な実現に向けた見解について、お聞きします。</p> <p>2 女性を対象とした骨粗しょう症検診の実施について</p> <p>(1) 本市の骨粗しょう症検診の現状について (要旨) 令和5年6月本会議で、会派から骨粗しょう症検診導入に向けての要望を行いました。その後の進捗状況をお聞きします。</p> <p>(2) 女性を対象とした定期的な骨粗しょう症検診の実施について (要旨) 女性は閉経前後の50歳代から骨密度が急激に低下します。健康寿命を延ばすためにも40歳から5歳ごとの骨粗しょう症検診を実施することが必要ではないかと考えます。本市の見解をお聞きします。</p>		

発言順位	9	議員名	山中 裕司(市民の会)
発 言 事 項	<p>1 身寄りがない高齢者の終活支援について</p> <p>(1) 独り暮らし高齢者の終活支援の充実について (要旨) 高齢化や未婚率の上昇に伴い、頼れる親族がない独り暮らし高齢者が増加している。身寄りがないことで入院や死亡などの際に手続きが困難になることが多く、身の回りの世話などの支援をケアマネジャーなどが業務外で行っていることが問題になっている。あらかじめ本人が決めた終活の内容を登録できる終活登録制度を策定してはどうか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 空き家対策の取組について (要旨) 所有者が不明であったり、所有者が死亡したが相続人が不在の空き家が増えている。適切な管理が行われていない空き家は、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。空き家予備軍への発生予防策の構築と空き家バンク等の取組が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>2 子どもの体験格差の解消に向けた取組について</p> <p>(1) 本市にある里山や里海を活用した自然体験の取組について (要旨) 様々な事情で子どもが得られる体験に格差が生じる「体験格差」が起きている。学校外の体験機会が得られるかどうかで、学習意欲や課題解決能力に影響するという指摘もある。体験格差を解消し、子どもたちが必要な力を育むために、本市の里山や里海をプレーパークとして活用し、自然体験ができないか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 市内の多目的広場の活用による夏休み格差の解消について (要旨) 学校がない夏休み期間は、特に家庭による格差が拡大しやすい。学校に提出する絵日記に書くことがないと悩む子どもたちがいる。大蔵海岸の多目的広場等を朝7時～9時まで、夏休み期間のみ試験的に開放できないか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 市長の所信表明から1年間の成果と課題について</p>		
	<p>(1) 市長として1年間活動された成果と課題について (要旨) 市民と共に市民目線のまちづくりを進めていく決意のもと、市政運営を担う責任者として着実に取組を進めているとのことですが、この1年間の成果と課題をお聞かせください。</p> <p>(2) 今後の施政方針について (要旨) 行政経営分野の取組として組織改正を行い、所信表明においては「職員と信頼関係を構築し、ボトムアップを意識して職員一丸となって、日本一やさしい市役所を目指し」とあるが、具体的にどのような努力をされているのか。また、市長として1年間活動を終えられた今、どうお感じか。市役所の雰囲気はどのようなものか。これからどのような方針で運営されるのか、市長の考えをお聞かせください。</p>		
発言事項	<p>2 本市の小中学校の抱える課題とその対応について</p>		
	<p>(1) 4月の教職員配置状況について (要旨) 3月議会で質問しましたが、各学校における教職員の配置状況はどのようになっていますか。未配置・育休など検討課題はありますか。市の見解をお聞きします。</p>		
	<p>(2) チーム担任制の導入について (要旨) 各学校の組織体制において若年層の教職員が増えてきており、教職員の負担軽減を図るために、教職員の働き方改革での対策案の1つでもあるチーム担任制を検討すべきと思いますが、市の見解を問います。</p>		
	<p>(3) 不登校児童生徒への支援に関する学校内での多様な居場所（フリースペース）の設置状況とサポーターの配置状況について (要旨) 不登校児童生徒への学校内での居場所づくりと支援者の配置を進めることで、登校のきっかけができる児童生徒もいます。そのような児童生徒のために環境を整える対策や予算措置を講じるべきと考えますが、市の見解を問います。</p>		
発言事項	<p>(4) コロナ禍後の児童生徒たちの心の教育の充実について (要旨) コロナ禍の学校生活の中で児童生徒は抑圧された毎日を過ごしてきており、その反動が出てきているとしか思えないくらい不安定な精神状態の児童生徒が増えてきています。ネット依存、性犯罪なども危惧されます。その原因として、教職員の未配置も影響しています。児童生徒の健やかな成長のための心の安定が喫緊の課題です。市はどのような取組をされているか、お聞きします。</p>		

発言順位	10	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>3 明石市の公共交通の課題について</p> <p>(1) 市民の足となる公共交通機関、コミュニティバスの現状と今後の在り方について (要旨) ライフラインとも言える市内を運行する公共交通の維持・継続に向けて、公共交通の安全性についてのPRなど利用促進策を積極的に行うとともに、たこバスの現状と今後について、進路延伸等も踏まえ、どのような在り方にしていくのか、市の見解をお聞きします。</p> <p>(2) 山陽バス70系統二見線の撤退意向と代替交通について (要旨) 朝夕に鉄道駅と二見人工島間を結んでいる山陽バス70系統二見線については、明石市地域公共交通会議において、同社より従前からの赤字路線であり、運賃改定後も状況は好転しておらず、車庫所在地の地理的要因から運行の効率が悪く、持続可能なバス運行を継続することが困難であるとし、運行を休止する方向で検討している旨の報告がありました。二見人工島に立地している一部企業の関係者からは、路線休止後の代替交通として、たこバスの運行を求める声もお聞きしています。一方で、たこバスの運行には様々な課題が多いと思われまますので、たこバス以外の方策も含め、同社や二見臨海工業団地企業連絡協議会と共に、本市としても代替交通の確保に積極的に関わっていく必要があると思いますが、市の見解をお聞きします。</p>		

発言順位	11	議員名	中村 茂雄 (明石維新の会)
発言事項	<p>1 新庁舎建設中における来庁者用駐車場について</p> <p>(1) 新庁舎建設中の仮設駐車場の利用方法と台数について (要旨) 明石市役所新庁舎建設の実施設計概要版によれば、本年度3月より仮設駐車場の工事が始まるが、現在の市役所駐車場と同等の約250台は確保されるのか。新たな明石港東外港仮設駐車場の利用期間は、完成までの約5年間であり、市役所・アワーズホール利用の観点からも、利用方法の精査や同数程度の駐車台数の確保が必要と思われるが、見解を問う。</p> <p>(2) 仮設駐車場から本庁舎入口までのルートについて (要旨) 仮設駐車場の場所については、中崎分署西側の明石港東外港仮設駐車場を借り受けすると聞いているが、本庁舎入口に至るルートについては幅も狭く、西庁舎入口に向かうには高低差も見受けられる。さらに公用車の入出庫ルートを横断することになり、来庁者の危険性が高い。障がい者への配慮も含め、どのようなルートの整備や誘導、安全対策を想定しているのか、見解を問う。</p> <p>(3) 仮設駐車場の管理・利用料金について (要旨) 仮設駐車場の管理については、現在の市役所駐車場管理と同じであれば総務局の所管となるが、距離も離れ、日常的な管理に加え、満車時の対応が困難となるが、どのような対策を行うのか。あわせて、仮設駐車場利用料金についても、見解を問う。</p> <p>2 中学校部活動の地域移行に向けた取組について</p> <p>(1) 運営団体の体制整備の取組について (要旨) 本市の実情に合わせた持続可能なスポーツ環境の整備を行うには、まず、専門的な知識を持った人材と運営システムの構築が必須であり、コーディネーターの配置など、運営団体の体制整備が重要である。運営団体には、委託料・報償費・旅費など様々な経費も必要となる。昨年からの進捗状況及び今後の体制整備について、お聞かせください。</p> <p>(2) 指導者確保について (要旨) 本市には様々なスポーツ団体や文化活動団体があるが、指導者として専門性を有する資格(ライセンス)を必要とするならば、対象者は減少する。現段階の指導者確保も継続しながら、具体的な要件を示した公募による指導者確保に取り組んではどうか。また、企業や大学は人材や施設、研究能力等、スポーツについて豊富な資源を有しており、企業や大学等との連携も含め進めてはどうかと思うが、お考えをお聞かせください。</p>		

発言順位	11	議員名	中村 茂雄 (明石維新の会)
発言事項	<p>(3) スポーツ環境の整備について</p> <p>(要旨) 生徒には、スポーツや文化に触れる多様な機会を確保しなければならない。休日部活動の地域連携を進めていくには、活動成果の発表の場として、大会などを開催するための施設等を充実させる必要があると考える。</p> <p>中央体育会館は、休日の利用率が高いため、新たな大会や合同練習会などを計画しても確実に実施できる状況ではない。</p> <p>そこで、現在、活用方法について検討を進めている旧明石市立図書館跡地において、例えばスポーツもできる複合施設を整備してはどうかと思うが、お考えをお聞かせください。</p>		

発言順位	12	議員名	灰野 修平（自由民主党明石）
発 言 事 項	<p>1 本市の教育環境について</p> <p>(1) 小学校給食費の公会計化について (要旨) 本市では、いまだに小学校の給食費の公会計化がなされていないが、市長の認識を問う。</p> <p>(2) 電子黒板の設置状況について (要旨) 本市の小中学校の電子黒板、もしくは黒板専用プロジェクターの設置状況について、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 中学校施設の防犯カメラ設置状況について (要旨) これまで幾度も予算要望し、現場での必要性を訴える意見も多く聞いている中学校施設の防犯カメラであるが、いまだ公費では設置されていない。市長の認識を問う。</p> <p>2 大久保駅周辺市有地利活用計画について</p> <p>(1) 整備計画の進捗状況について (要旨) 丸谷市政になってこれまで、大久保地区でタウンミーティングを3回開催しているが、そろそろ市としての考えを示す時期が来ていると考える。市長の見解を問う。</p> <p>(2) 実行の優先順位について (要旨) J T跡地については、利活用計画策定に時間がかかると思われる。まずは、現在、駐車場業者に委託している土地の更新時期が迫っている大久保駅東公園南側市有地から大久保市民センターの建て替えを含め実行するのがより良いのではないかと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p>1 産前・産後の心のケア施策拡充への取組について</p> <p>(1) 本市の妊産婦の心のケアへの取組について (要旨) 国は今年度から、病院や行政などの地域関係機関の連携強化や、支援の必要性の高い産婦の産後ケア施設受入加算をする等、妊産婦の心のケアを強化する方針を打ち出している。本市の現状と今後の取組を問う。</p> <p>(2) 父親も含めた世帯単位での心のケアについて (要旨) 父親の10人に1人が産前・産後うつになるとされているが、まだまだ知られておらず支援が不十分である。国は研究班を設置し、実態調査と対策の検討に乗り出している。本市としても、父親を含めた世帯単位での心のケアにしっかりと取り組む必要があると考えるが、見解と今後の取組を問う。</p> <p>(3) 死産や流産を経験した家庭への心のケアについて (要旨) 令和3年9月の本会議で死産や流産を経験した家庭への支援体制の整備を求めたが、その後の取組について問う。</p> <p>2 公立保育所等へおむつや布団を持たずに登園できる制度導入について</p> <p>(1) 保護者のおむつや布団の持参について (要旨) 保育所等におむつやお昼寝布団を持参することが保護者や保育士の負担になっているとの声が多く届いている。負担軽減に取り組む自治体や保育所等も増えているが、本市の現状と認識を問う。</p> <p>(2) おむつのサブスクリプション制度を導入しないか。 (要旨) 同制度を導入した保育所等では、おむつの持参や管理等の負担が軽減され、保護者にも保育士にも大変好評と聞いている。本市の公立保育所等でも導入しないか、見解を問う。</p> <p>(3) 全園児にコットの使用及びコットカバーのサブスクリプション制度を導入しないか。 (要旨) 本市の公立保育所等では3歳児以上はコットを使用しているが、ゼロ歳児から2歳児は布団を持参しているため、保護者の負担が大きいとの声がある。全ての園児にコットの使用及びコットカバーのサブスクリプション制度を導入しないか、見解を問う。</p>		

発言順位	14	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	<p>1 孤独・孤立を生まない多胎育児支援について</p> <p>(1) サービス利用料減額や声かけによるサービス利用の後押しをしないか。 (要旨) 多胎世帯に対し、育児負担と虐待リスクの軽減に向け、子育て応援ヘルパー派遣やファミリーサポート制度の利用料を減額しないか。また、効果的な声かけを職員間で共有し、様々なサービス利用を後押ししてはどうか。</p> <p>(2) もうすぐパパママ講座での多胎育児支援について (要旨) 多胎世帯が、多胎出産・多胎育児特有の心構えを学べるようにしないか。支援グループと連携し、家族の協力体制づくりや、気軽に相談し合える仲間づくりの機会としてはどうか。</p> <p>(3) 出かけやすい環境整備について (要旨) ユニバーサルデザインのまちづくりに、2人乗りベビーカーでも移動しやすくするなど、多胎育児の視点も加えられないか。ハード面が整っていない場所では、ソフト面でカバーできる取組ができないか。特に、市役所や関係機関、病院では、長時間滞在となることがあり、トイレや授乳時に困ると聞いている。</p> <p>(4) 分かりやすい情報提供の在り方について (要旨) ホームページに多胎児支援のページをつくり、その情報を手渡しする等、必要な情報が簡単・確実に届けられる仕組みづくりをしないか。また、産後ケア事業の利用のハードルを下げするため、サービス内容の見える化や受入先の施設に関する情報の見える化をしてはどうか。</p> <p>(5) ファミリーサポート制度を利用しやすい仕組みにしないか。 (要旨) より広く利用できる方を増やすために、依頼会員登録までの手続きをオンライン化し、役所に出向かなくても利用できるようにしないか。提供会員登録も、できる限り手続きや受講をオンライン化し、受講回数も減らせないか。</p> <p>2 放課後児童クラブのより良い環境づくりについて</p> <p>(1) 支援員の負担軽減に向けた取組について (要旨) こどもたちに寄り添った支援ができるよう、事務負担を軽減できないか。利用申込み等各児童クラブが担っている事務作業を見直し、オンライン化など効率化を進めてはどうか。</p>		

発言順位	14	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	<p>(2) 地域交流からお互いさまの関係づくりを。 (要旨) 地域のこどもを地域で育てる土壌づくりに、地域交流を進めてはどうか。社会福祉協議会、高齢者施設や障害者施設、中高生や市民活動グループ、民間企業などと連携・協力・交流を進め、「お互いさま」の関係づくりができないか。</p> <p>(3) 春休みのみの入所は進められないか。 (要旨) 年度替わりの繁忙期に短期利用（特に短期の新規利用）が重なるのは、安全確保の面でもさらなる受入体制の整備が必要と聞く。支援員の負担軽減を図った上で、夏休み・冬休みの利用歴のあるこどもたちから段階的に利用を進めてはどうか。</p> <p>(4) 合理的配慮の取組をどう進めるのか。 (要旨) 発達支援センターと連携し、児童クラブごとに、こどもたちの特性に応じた環境整備を図れないか。特に発達障害のこどもたちなどが心を落ち着かせるクールダウンスペースの確保は急務だと考える。また、障害特性による困りごとの相談があった際、全ての支援員が適切な対応ができるよう、分かりやすいマニュアルや研修なども必要ではないか。</p>		

発言順位	15	議員名	正木 克幸 (明石維新の会)
発 言 事 項	<p>1 地方独立行政法人明石市立市民病院の在り方について</p> <p>(1) 小児救急の今後の在り方について (要旨) 市内完結率が50%を下回る小児科救急搬送について、小児科医の確保が困難とされている中での、今後についての市の見解を問う。</p> <p>(2) 小児科及び産婦人科診療の在り方について (要旨) 少子高齢化が進む中での、中長期的な小児科及び産婦人科診療の今後の在り方について、市の見解を問う。</p> <p>(3) 今後の市民病院の経営について (要旨) 市民病院である以上、市民サービスと収益確保は相反する部分がある。令和5年度は単年度赤字を見込んでいるが、今後の経営方針について、市の見解を問う。</p> <p>(4) プロジェクトチーム内で検討された内容を基にしたあり方検討会に向けて (要旨) 10月から開かれる市民病院のあり方検討会に向けて、プロジェクトチーム内での議論がどの程度反映されるのか。また、どのような可能性を模索したのか、市の見解を問う。</p> <p>2 技術職員拡充のメリット及び拡充方法について</p> <p>(1) 技術職員を拡充することによるメリットについて (要旨) 現状を維持することが精一杯の現状であるが、技術職員を増員することにより得られる中長期的なメリットについて、市の見解を問う。</p> <p>(2) 本年度の技術職員の募集状況及び新たな取組について (要旨) 技術職員の募集の拡充については、昨年度の議会でも取り上げたが、本年度の状況及び新たな取組についての市の見解を問う。</p>		

発言順位	16	議員名	石井 宏法（自由民主党明石）
発言事項	<p>1 本市の観光施策について</p> <p>(1) 本市の観光施策について (要旨) 積極的に観光施策を展開し、観光分野から本市の発展を図るべきと考えるが、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	17	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発 言 事 項	<p>1 国のこども未来戦略加速化プランである「こども誰でも通園制度」について</p> <p>(1) 本市の保育の現状について (要旨) こどもを核としたまちづくりを進め人口が増える中、待機児童解消にも積極的に取り組んできたが、本市の保育の現状について聞く。</p> <p>(2) 「こども誰でも通園制度」の準備状況について (要旨) 国のこども未来戦略加速化プランである「こども誰でも通園制度」が2026年度から全国で本格導入予定であるが、本市の準備状況を聞く。</p> <p>2 小学校給食費の公会計化の実施で教育活動の充実を</p> <p>(1) 本市の現状について (要旨) 小学校給食費の公会計化への本市の現状を聞く。</p> <p>(2) 小学校給食費の公会計化の実施で教育活動の充実を。 (要旨) 教職員の負担軽減により、子どもと向き合うことも多くなることから、給食費の公会計化の実施で教育活動の充実に努めないか。</p> <p>3 ご当地グルメの祭典でさらなる明石のにぎわいづくりを</p> <p>(1) ご当地グルメの祭典の開催でさらなる明石のにぎわいづくりを。 (要旨) 来年開催予定の大阪・関西万博に合わせてご当地グルメの祭典を開催し、さらなる明石のにぎわいづくりをしないか。</p>		

発言順位	18	議員名	金尾 良信(市民の会)
発言事項	<p>1 福祉人材の育成・確保に向けて</p> <p>(1) 福祉人材の確保・育成・定着に向けた取組の現状と成果について (要旨) 昨年度、福祉現場へのヒアリングを実施してはどうかという質問を行い、実際に実施してもらった。その結果、人材の確保・育成・定着の課題に対して、助成金範囲等の拡充を実施していたが、取組と成果について、市の見解をお答えください。</p> <p>(2) さらなる課題解決に向けた新たな取組の実施について (要旨) 障害者施設や高齢者施設などでの仕事について、暗いニュースが多く、福祉の仕事に対してネガティブな印象がついてしまっている。民間事業所の努力だけでは人材確保が難しく、市としても一緒に取り組んでいくべきだと考えるが、市の見解をお答えください。</p> <p>2 市内の交通安全について</p> <p>(1) 市内のスクールガードの育成について (要旨) 5年後、10年後を見据えたスクールガードをしてくれる人たちの育成・確保に向けて、スクールガードの活動報告をSNSで定期的に行い、注意喚起だけでなく、地域とのつながり、安全対策を見える化できないか、市の見解をお答えください。</p> <p>(2) スクールガードに特化したタウンミーティングについて (要旨) 東部、中部、西部に分かれてタウンミーティングを行い、スクールガードの活性化につなげられないか、市の見解をお答えください。</p> <p>(3) 通学路の安全対策について (要旨) 市内の横断歩道、道路の白線などが消えている箇所が多数見られ、道幅が狭くすれ違いができない状況の道路も多くある中で、障害のある方、高齢者、子どもが安心して通行できるよう、路面への注意喚起表示、徐行を促す表示の設置、高校生への自転車の安全利用講習の促進等、さらに取り組めないか、市の見解をお答えください。</p>		

発言順位	19	議員名	河村 和歌子 (公明党)
発言事項	<p>1 小1の壁の朝の支援について</p> <p>(1) 本市における小1の壁の朝の現状について (要旨) 子どもの小学校入学を機に預け先に困るなど、子育てと仕事の両立が難しくなる。特に、登校時間前の午前7時頃から子どもが小学校前で開門待ちをしていることが社会問題になっている。本市の現状を問う。</p> <p>(2) 本市における小1の壁の朝の支援の展望について (要旨) 共働きの核家族の方から、不安と要望の声をお聞きしている。こどもを核としたまちづくりを掲げる本市でも支援に取り組むべきと考える。本市の考えを問う。</p> <p>2 自治会館の整備について</p> <p>(1) 地域の安全・安心のために自治会館の整備を。 (要旨) 自治会館は、地域の会議、イベントや地域の方々の様々なコミュニケーションの場であり、地域のために尽くす皆さんの拠点である。地域住民が安全に安心して自治会館を使用できるよう地域の拠点として整備しておくことが重要と考える。自治会館の耐震改修に市の補助があるのかとの問い合わせを聞いている。補助制度の利用率はどれくらいか。本市の見解を問う。</p>		

発言順位	20	議員名	山下 祥 (市民の会)
発言事項	<p>1 大蔵海岸公園を核としたにぎわい創出について</p> <p>(1) 西駐車場の商業施設誘致における経緯と今後の展望について (要旨) 応募事業者がなかったことについて、何が課題であったと考えているか。また、公共不動産データベース掲載中の現在においても、当該エリアにおける利活用の余地があると考えますが、今後の展望を問う。</p> <p>(2) 芝生広場に明石のPRにつながるモニュメントを設置しないか。 (要旨) 2025年度の神戸マラソンコース延伸によって大蔵海岸公園に市外から多くの人を訪れることになる。そうした好機を捉え、写真スポットとして映え、かつ本市の認知度向上につながるモニュメントを芝生広場に設置し、にぎわいづくりにつなげないか。また、それを起点に市内の観光スポットへの展開もしていかないか、見解を問う。</p> <p>(3) ワールドビーチゲームズ日本招致について (要旨) 2023年度より、ビーチスポーツの国際総合競技大会「ワールドビーチゲームズ」の日本招致プロジェクトとして、「ジャパンビーチゲームズ@須磨」が神戸市須磨海岸で開催されている。神戸マラソンのコース延伸が実現したように、神戸市須磨海岸のサテライト会場として大蔵海岸公園を活用できるよう、両市の共創体制を築いていかないか、見解を問う。</p> <p>2 市政推進における「共創体制」のさらなる強化について</p> <p>(1) 部局を越えた横断的な市政を進めやすい体制づくりをさらに促進していかないか。 (要旨) 市民の課題は複雑化し、解決策も同様に複雑化する。担当する部局を越えた横断的な対応をしやすい体制づくりをしていくことで、市民に対してより迅速、かつ効果的な対応が実現すると考えるが、見解を問う。</p> <p>(2) 市民を対象にした「(仮称)明石市共創アイデア提案コンテスト」を行わないか。 (要旨) 議員からの提案型の質問を通じて、多くの政策が実現することを丸谷市政で実感することができている。それに加えて、市民からのアイデアをコンテスト形式で募ることで、市民の知恵が結集し、市政の課題解決につながると考える。実際に神奈川県茅ヶ崎市でも同様の取組がある。他市も参考に、本市でもアイデアを多方面から募る「共創」の市政を進めていかないか、見解を問う。</p>		

発言順位	21	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>1 都市計画道路の進捗について</p> <p>(1) 山手環状線について (要旨) 国道2号の大久保から西明石の渋滞解消の切り札となる山手環状線の大窪工区約700メートルの整備が、2026年度供用開始に向け進行中です。計画どおり進捗しているのか、また、開通すれば県道神戸明石線(県道21号)の障子口交差点の渋滞が懸念されます。どのような対策を考えているかを問う。</p> <p>(2) 江井ヶ島松陰新田線について (要旨) 本市の東西交通渋滞の解消には、山手環状線と時を合わせて江井ヶ島松陰新田線の完成が必要であります。計画道路内に遺跡があるとお聞きしました。2026年度の供用開始はできるのかを問う。</p> <p>(3) 神戸市道玉津大久保線について (要旨) 江井ヶ島松陰新田線と共に神戸市道玉津大久保線の整備が進まなければ供用開始には至りません。国道175号まで直結でなくても、県道野村明石線まで開通すれば供用開始となります。神戸市との協議がどこまで進展しているのかを問う。</p> <p>2 明石港東外港地区再開発計画について</p> <p>(1) 再開発計画に対する市の対応について (要旨) 瀬戸内海国立公園の東の玄関口である明石海峡にある明石港は、風光明媚な観光の一等地である。県は2017年に再開発計画をまとめ、これに基づき再開発に取り組むとし、2022年には市の意見、要望があれば文書で説明を求めるとしている。昨年の6月議会の答弁では市の方針は見えない。見解を問う。</p> <p>(2) 土地利用の基本的な方向性について (要旨) 再開発計画では、中心市街地の南の拠点を形成し、回遊性を高めることで、中心市街地のさらなるにぎわい創出を図るとしている。その具体的な取組は市の提案が重要である。どのような提案構想を持っているのかを問う。</p> <p>(3) 海の駅、道の駅整備構想について (要旨) 2014年に海の駅について質問しましたが、答弁は大変に消極的なものでした。現在は、砂利揚げ場も撤去され、再開発計画の県民アイデア募集での意見の95%がにぎわいに関する内容であり、クルーズ施設の提案もあります。海の駅、道の駅整備構想について問う。</p>		

発言順位	21	議員名	梅田 宏希 (公明党)
発言事項	<p>(4) 再開発計画策定の時期について (要旨) 新庁舎の供用開始は2027年度と計画されました。旧庁舎の解体撤去も同時に始まります。市役所と再開発事業を一体整備するためには、再整備の実施設計を完了する必要があります。県への積極的な働きかけが求められます。本気度を問う。</p>		
	<p>3 大久保北部整備構想について</p> <p>(1) 石ヶ谷公園のポテンシャルについて (要旨) この公園は標高約85メートルの丘陵地にあり、東に大阪湾、南に明石海峡大橋、淡路島、西に播磨灘のパノラマの眺望が開けており、公園内の植栽、施設、遊具、駐車場も充実して市民の憩いの場として大いに利用されている。サービスエリアに隣接しておりウェルカムゲートから人が入れる。観光ポテンシャルの認識を問う。</p> <p>(2) 第二神明道路の交通量の将来予測について (要旨) 第二神明道路、神戸西バイパス、播磨臨海道路の連結が近い将来に計画されている。高速道路網の整備が明石サービスエリア、スマートインターチェンジの需要にどのような影響があるかを問う。</p> <p>(3) NEXCO（ネクスコ）西日本との連携について (要旨) 第二神明道路の東西にサービスエリアはなく、一体整備による地域活性化の可能性が高い。NEXCO西日本はサービスエリアを通して、地産地消、地域活性化の促進に寄与するとしており、連携協議を行い大久保北部の活性化に取り組むべきである。見解を問う。</p> <p>(4) 一体整備の本市側の取組について (要旨) 明石市は、16ヘクタールの石ヶ谷公園、約8ヘクタールの遊休地の利活用、クリーンセンターの余熱の利用、漁連や農協、商工会議所との連携を踏まえて、NEXCO西日本に整備案を提案すべきと考える。見解を問う。</p>		

発言順位	22	議員名	辻本 達也 (日本共産党)
発言事項	<p>1 新幹線車両基地計画について</p> <p>(1) 現状認識について (要旨) 新型コロナウイルス感染症の拡大によるJR西日本の経営環境の変化により、車両基地計画の検討は一旦中断しているという説明をこれまで聞いてきたが、現在はどのようになっているか。また、市として車両基地計画についてどのように考えるか。認識を問う。</p> <p>(2) 今後の対応について (要旨) 市としてJR西日本に対し今後の方針等を確認し、市の考えも併せて現状を市民に公表するべきと考える。</p> <p>2 大阪・関西万博への対応について</p> <p>(1) 学校行事として小中高校生、特別支援学校生を参加させることについて (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) 安全性について (要旨) 確認はできているか、認識を問う。</p> <p>3 明石川の有機フッ素化合物問題について</p> <p>(1) 上流部で高濃度の有機フッ素化合物が検出されたことについて (要旨) 市長の認識を問う。この地で検査を行った理由についても問う。</p> <p>(2) 環境への影響について (要旨) 農作物、海産物への影響について、認識を問う。</p> <p>(3) 発生源の特定と今後の対応について (要旨) 検査結果を基に発生源の特定と関係機関との協議を進めるべきと考える。見解を問う。</p> <p>(4) 検査を希望する市民に対し費用を助成することについて (要旨) 見解を問う。</p> <p>4 (仮称) 二見図書館について</p> <p>(1) 3月議会における説明からの変更点について (要旨) 運営体制を指定管理者から委託に変更したことについて、見解を問う。</p> <p>(2) 委託先の選定について (要旨) 委託事業者の選定はどのように行うのか、見解を問う。</p>		

発言順位	23	議員名	中西 礼 皇（対話の会あかし）
発 言 事 項	<p>1 中学校の修学旅行における民泊について</p> <p>(1) 民泊を実施する意義について (要旨) これまで多くの学校で民泊が実施され、コロナ禍において中断したが、今年度から再開する学校が多い。市教育委員会として民泊の意義をどのように考えているか。</p> <p>(2) 保護者からの心配の声や意見について (要旨) 親世代は民泊を体験していない家庭が多く、様々なリスクに対する心配の声が上がっている。どのようなリスクがあると認識して、どのような対策をしているか。</p> <p>(3) 本市としてのガイドライン作成について (要旨) 安全や内容について一定の水準を保つため、市としてガイドラインを作成すべきと考える。</p> <p>2 明石駅周辺の客引き対策について</p> <p>(1) 現状の認識と対策について (要旨) 悪質な客引き、客引きを禁止されている業態による客引き等についての現状や住民からの苦情をどう認識しているか。また、現状取られている対策や今後取り得る対策はどうか。</p> <p>(2) 客引き禁止地区の指定について (要旨) 県に対して禁止地区の指定を要請することをどう考えるか。</p> <p>3 本のまち明石について</p> <p>(1) 現状への認識について (要旨) 「いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまち」は達成できているのか。図書館を造れば達成できるのか。</p> <p>(2) 二見図書館の運営について (要旨) 運営方針や指定管理者制度の導入など、図書館法に基づく図書館である必要があるのか。市民団体による運営はできないのか。</p>		

発言順位	24	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p>1 誰一人取り残さないまちづくりについて</p> <p>(1) 手話言語・障害者コミュニケーション条例に基づく施策について (要旨) 本条例は、手話を言語として認め、さらなる手話の普及と利用促進、情報・コミュニケーション支援が必要な障害者の情報保障やコミュニケーション推進を目指す内容である。市としてさらに理解促進や啓発などに取り組む必要がある。本市における現状、課題、これからの取組予定などについて尋ねたい。</p> <p>(2) 障害者配慮条例に基づく施策について (要旨) 本市では、平成28年、国の障害者差別解消法と同時に、障害者配慮条例を制定した。令和6年4月1日より、事業者に対する合理的配慮の提供が努力義務から義務となった。これまでの本市における合理的配慮の提供に係る公的助成制度の実績、課題、今後の予定について尋ねたい。</p> <p>(3) インクルーシブ条例に基づく施策について (要旨) 本条例は令和4年に施行され、誰一人取り残さないインクルーシブな社会を目指し、2年が経過した。これまでの取組成果、課題、今後の取組予定について尋ねたい。</p> <p>(4) インクルーシブな市役所について (要旨) 福祉職など専門職員を含めたインクルーシブな組織づくりの今後の予定について尋ねたい。</p>		